

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期天童市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

山形県天童市

3 地域再生計画の区域

山形県天童市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の総人口は、2005年の63,864人をピークに減少に転じ、2020年の国勢調査結果によれば、62,140人となった。国立社会保障・人口問題研究所の2023年推計によれば、2045年には51,600人まで減少すると推計されている。

年齢3区分別人口は、年少人口（0～14歳）は1985年の11,817人をピークに、生産年齢人口（15～64歳）は2000年の38,086人をピークに、ともに減少が続くものと見込まれる。一方、老年人口（65歳以上）は増加を続けて2030年にピークに達し、その後はゆるやかに減少に転じると見込まれる。その結果、2030年には市民の3人に1人が65歳以上となる見込みである。なお、2025年時点では、年少人口7,212人、生産年齢人口33,662人、老年人口18,825人である。

自然動態は、死亡数が一貫して増加する一方、出生数は2000年から減少に転じている。この結果、2010年に死亡数が出生数を上回る自然減となった。なお、2024年には459人の自然減となっている。

社会動態は、転入者数は2005年に、転出者数は2010年にそれぞれ減少に転じている。本市では、区画整理事業の影響により2011年から2020年までは社会増の傾向が続いていたが、近年は転入者数と転出者数が概ね均衡しており、2024年においては36人の社会増となった。

近年は自然減が社会増を大幅に上回っており、人口減少傾向が顕著である。このような状態が続くと、地域経済の衰退などの課題が生じることから、こうした課題

に対応するため、本計画において次の基本目標を掲げ、具体的な事業を実施する。

- ・基本目標 1 強い経済の形成
- ・基本目標 2 豊かな生活環境の構築
- ・基本目標 3 多くの若者や担い手から選ばれるまち

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始 時点)	目標値 (2028年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	市民（納税義務者）一人あ たりの所得	3,098千円	3,300千円	基本目標 1
イ	住みよいと思う市民の割合	84.9%	90.0%	基本目標 2
ウ	子ども・子育て支援施策満 足度	48.2%	55.0%	基本目標 3

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期天童市まち・ひと・しごと創生推進計画

- ア 「強い経済の形成」を推進する事業
- イ 「豊かな生活環境の構築」を推進する事業
- ウ 「多くの若者や担い手から選ばれるまち」をつくる事業

② 事業の内容

- ア 「強い経済の形成」を推進する事業

【具体的な事業】

- ・魅力ある仕事の創出
- ・競争力のある農業の振興
- ・戦略的な誘客促進 等

イ 「豊かな生活環境の構築」を推進する事業

【具体的な事業】

- ・誰もが利用しやすい公共交通の促進
- ・快適な住環境の創造
- ・災害に強いまちづくり 等

ウ 「多くの若者や担い手から選ばれるまち」をつくる事業

【具体的な事業】

- ・移住・定住施策の推進
- ・安心して出産・子育てできるまち
- ・夢を持ち未来につなぐ学校教育の推進 等

※なお、詳細は第3期天童市総合戦略のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

4,470,000千円（2026年度～2028年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度、事業の終了後に必要な調査を行って状況の把握を行うとともに、外部有識者による効果検証を行い、結果を市ホームページで公表して、翌年度以降の取組に反映する。

⑥ 事業実施期間

2026年4月1日から2029年3月31日まで

6 計画期間

2026年4月1日から2029年3月31日まで